

国立市のプロジェクト、講師・演出にプロダンサー砂連尾理の派遣が決定

Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募採択事業
「放課後ダイバーシティ・ダンス」
ワークショップ参加者募集開始

Tokyo Tokyo FESTIVAL 企画公募採択事業「放課後ダイバーシティ・ダンス」(After-school Diversity Dance、略称ADD)は、東京・国立市でのプロジェクト始動に際し、ワークショップ「ほうかごダンス隊」の参加者を募集開始します。

ADDは、子供たちが地域住民やダンスの専門家との様々なワークショップを通してシビックプライドを醸成しながら、一つのダンス作品を振付・創作するプロジェクト。都内3カ所で展開します。

ADD国立市では、コンテンポラリーダンスの砂連尾理をワークショップ講師およびクリエイションの演出家として現地に派遣。砂連尾理、国立市の大人たち、子供たちが協働して、ワークショップとダンス作品のクリエイションに挑みます。作品は2020年夏に市内で発表し、その後、3地域のADD作品を都内にて一挙上演します。

本プロジェクトは、幅広く多様(ダイバーシティ)な身体表現が築く、世代や立場、境遇を超えた人と人とのつながりや地域への愛着など、国立市から未来を耕す持続的なネットワークの構築を目指します。その第一歩であるワークショップに、ぜひご参加ください。



(左)プロジェクトイメージ写真(さいたまスーパーアリーナの青少年育成事業 身体表現ワークショップ「チームたまーりん」より 撮影◎植田洋一)
(右)ADD派遣舞踊家 砂連尾理◎三浦博之

ADD国立市ワークショップ「ほうかごダンス隊」

概要: 砂連尾理の他に、プロジェクトの一環で国立市のダンス文化を調査しているリサーチャーや、地域文化を支える様々な方々(地域の先輩)が講師となり、子供たちにダンスを教えます。

会場: くにたち市民芸術小ホール (〒186-0003 東京都国立市富士見台2丁目48-1)

対象: 小学3～6年生 ※しょうがいのある方でもご参加いただけますので、事前にご相談ください。

時間: 16:30～18:00

料金: 参加無料・要事前申込

定員: 約20名(先着)

スケジュール: 計10回を予定

(1) 2019年9月27日(金) (2) 10月4日(金) (3) 11月1日(金) (4) 11月15日(金) (5) 12月13日(金)

(6) 2020年1月17日(金) (7) 1月31日(金) (8) 2月21日(金) (9) 2月28日(金) (10) 3月20日(金・祝)

※講師・内容は毎回異なります。

※1回からご参加いただけます。10回通しでの参加歓迎。

講師: 砂連尾理(派遣舞踊家)、木村玲奈(リサーチャー)、地域文化を支える人々(地域の先輩)

申込方法: 以下の内容を明記の上、メールでの申込み

①お名前(よみがな) ②性別 ③年齢 ④学年 ⑤保護者氏名 ⑥緊急連絡先 ⑦参加希望日

⑧しょうがいの有・無(しょうがいがある方で、ケアが必要な場合は、介助者と一緒にご参加いただくか、事前にご相談ください)

宛先: add.kunitachishi@gmail.com

申込締切: 各回の10日前まで ※締切後も定員に余裕があれば参加可能

※メールのみの受付となります。お申し込み後、事務局からお申込み完了メールをお送りします。3日経っても返信が無い場合は、お電話にてお問合せください。 お問い合わせ: 050-5437-3334 (平日10:00-18:00 担当: 村松)

※個人情報は厳重に保管し、本企画の応募者管理及び記録・連絡の目的以外に使用することはありません。

派遣舞踊家

▶砂連尾理 (じゃれお おさむ) 振付家・ダンサー

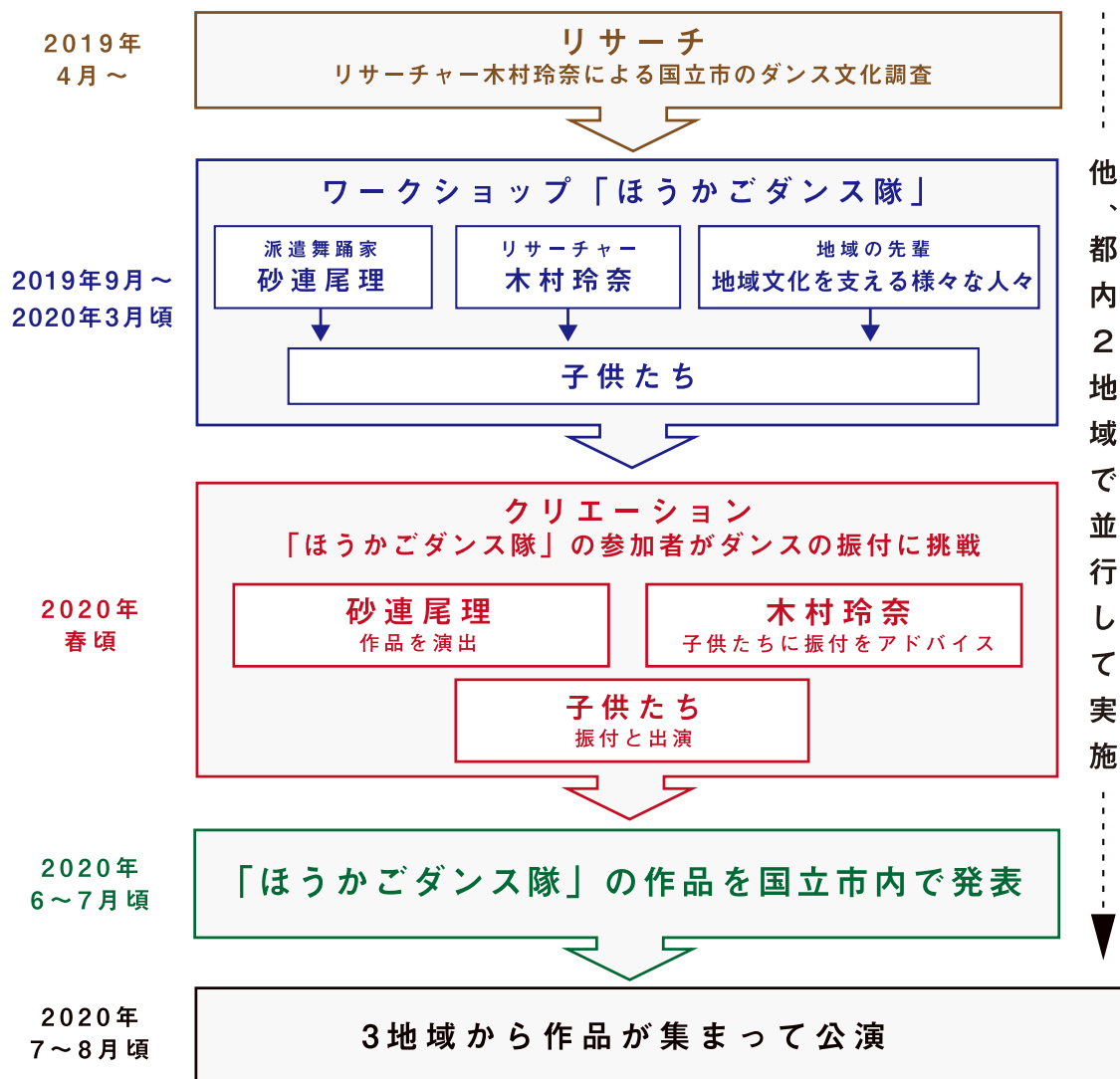
1991年、寺田みさことダンスユニットを結成。2002年、「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞」(グランプリ)、「オーディエンス賞」をW受賞。2008年度文化庁・在外研修員として、ドイツ・ベルリンに1年滞在。近年はソロ活動を中心に、しょうがいのある方や高齢者とのダンスも展開している。著書に『老人ホームで生まれた〈とつとつダンス〉—ダンスのような、介護のような—』(晶文社)。立教大学 現代心理学部・映像身体学科 特任教授。

リサーチャー

▶木村玲奈 (きむら れいな) 振付家・ダンサー

2008年よりショーネッド・ヒューズの作品に関わる。2012年、「国内ダンス留学@神戸」振付家コース1期修了。環境や言葉においての身体の変化や状態、人の在り方に興味を持ち、国内外様々な土地で創作を試みている。「横浜ダンスコレクション2014」および「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2014」ファイナリスト。2019年度セゾン文化財団ジュニア・フェロー。

ADD国立市 プロジェクトの流れ



※プログラムの内容等は、予告なく変更になる場合がございます。 ※クリエーション参加希望者多数の場合は抽選となります。

主催

東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京



協力：公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

企画・運営：ADD実行委員会
制作（ADD国立市担当）：村松薫

問い合わせ先（ADD実行委員会 担当：林慶一）
TEL：080-5383-0577
E-MAIL：add2020.office@gmail.com



▶ 「放課後ダイバーシティ・ダンス」とは

東京にある多様なダンス文化の間に橋をかけ、年齢や性、国籍や体の違いを超えた多文化共生型のダンスを子供達と創ります。プロの振付家や、地域内で様々なダンスに関わる人などによるワークショップと、子供達の創作・発表を通じ、地域内交流を促進しつつ、一定の型を習うだけでなくダンスを「創る」発想を刺激します。学校など地域の拠点や、様々な文化的リソースを繋ぎ合わせ、ダンスが生まれる回路を地域内に構築します。

Website： <http://addance.net/>

文化でつながる。未来とつながる。



▶ 「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは

オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組です。

▶ 「Tokyo Tokyo FESTIVAL企画公募」とは

斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVALの中核を彩る事業として、東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京が実施するものです。

国内外から応募のあった2,436件から選定した13の企画を、オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、順次展開していきます。